

(二〇二五年度)

学部学科試験・共通テスト併用方式

## 学部学科適性試験

(この問題冊子は一六ページ、三問である。)

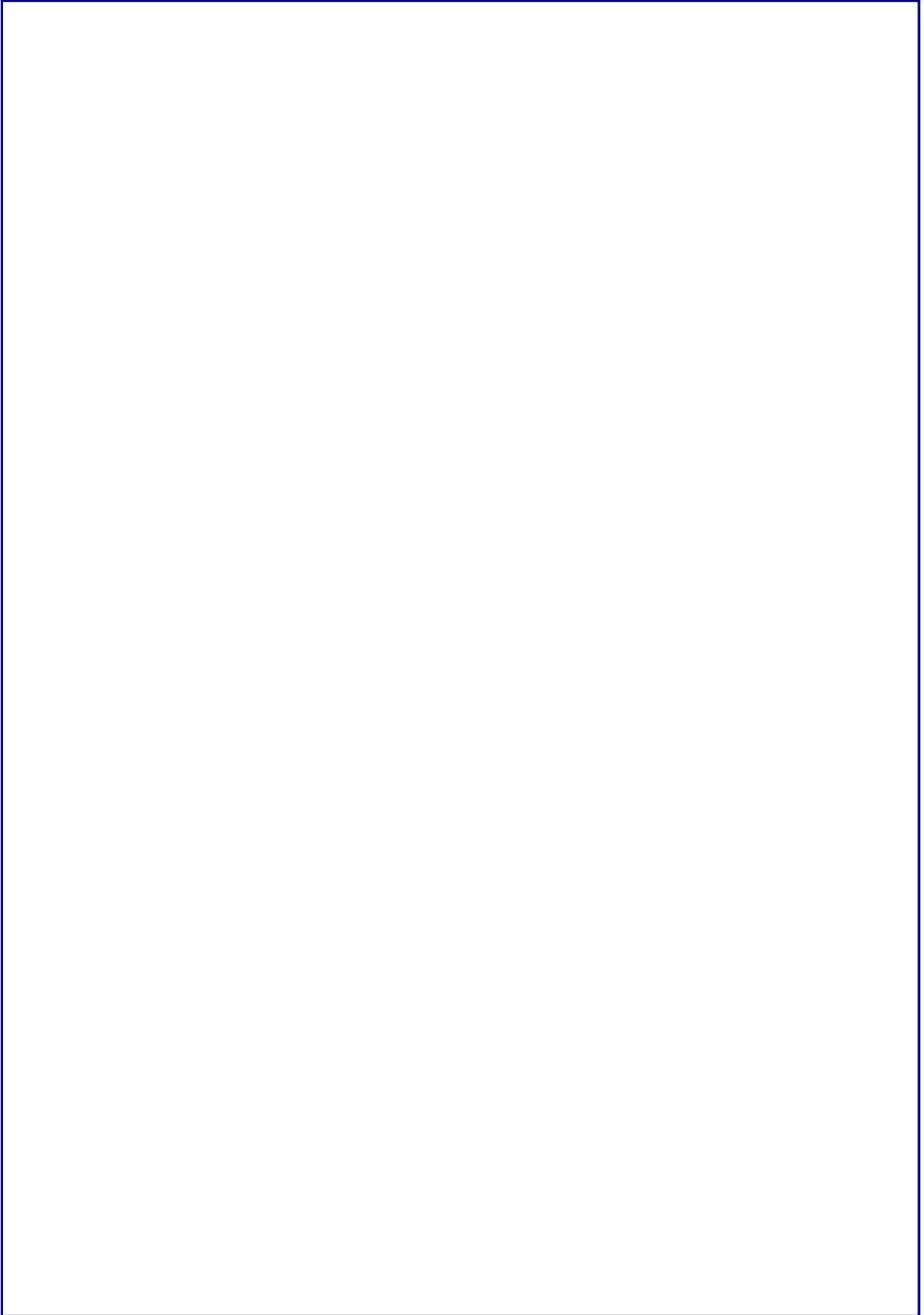
実施学部	文学部
実施学科	国文学科
試験時間	七五分
試験概要	現代文・古文・漢文の読解力を問う試験

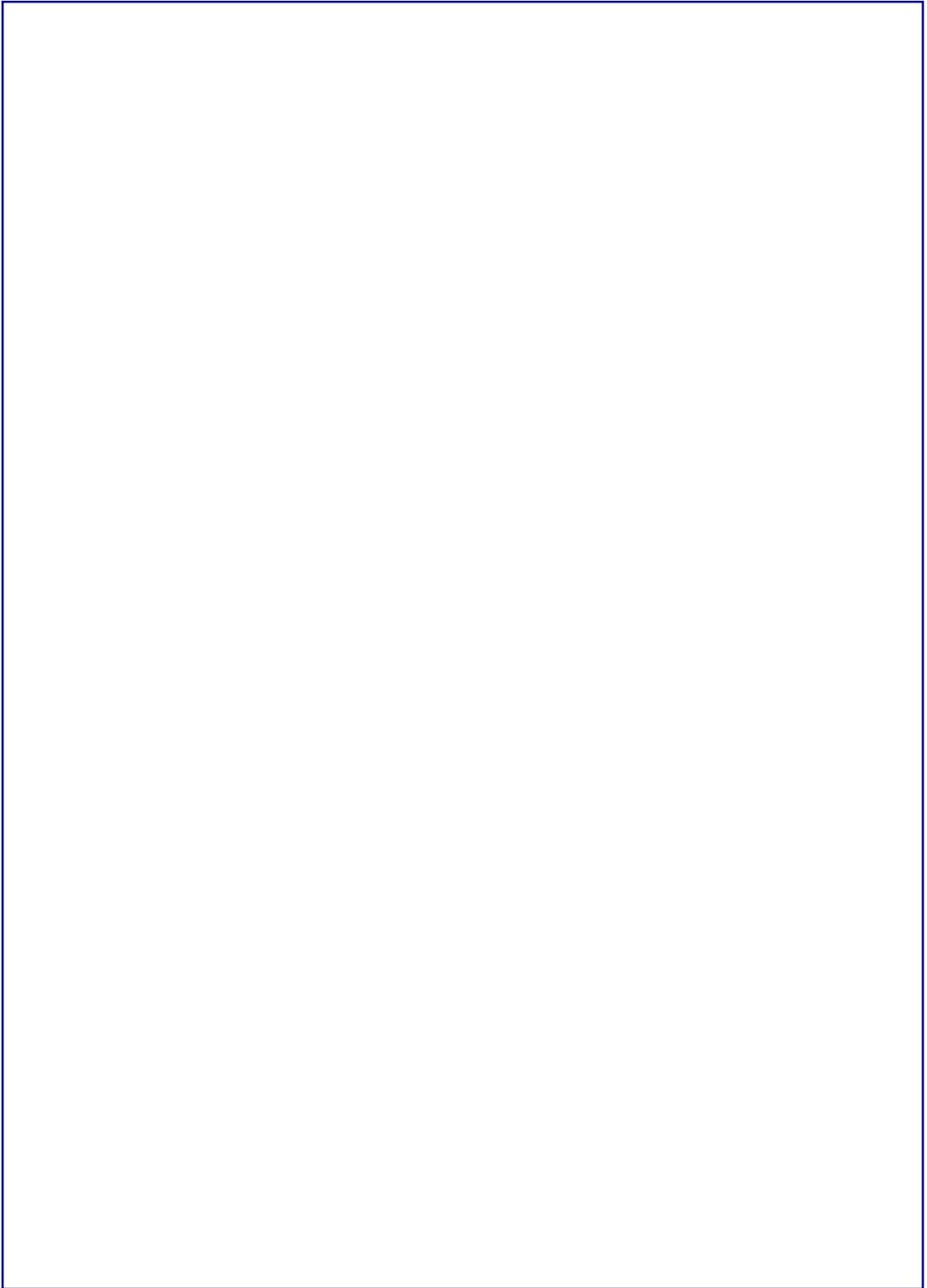
### 受験についての注意

- 一、試験監督者の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
- 二、試験開始前に、試験監督者から指示があったら、解答用紙一ページ目の左上に氏名と受験番号を記入し、所定のマーク欄をぬりつぶすこと。
- 三、試験監督者から試験開始の指示があったら、この問題冊子が、右に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
- 四、筆記具は、HかFかH Bの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。
- 五、マーク式の解答は、解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。
- 六、マークをするとき、マーク欄からはみ出したり、白い部分を残したり、文字や番号、○や×をつけたりしてはならない。また、マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
- 七、記述式の解答は、各解答欄にいいねいに記入すること。
- 八、訂正する場合は、消しゴムでいいねいに消したうえで、消しきずはきれいに取り除くこと。
- 九、解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。
- 十、試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
- 十一、解答用紙を持ち帰ってはならない。
- 十二、問題冊子は必ず持ち帰ること。

一

次の文章は野口武彦『言葉と声音 小説言語ことはじめ』の一節である。よく読んで後の問に答えよ。



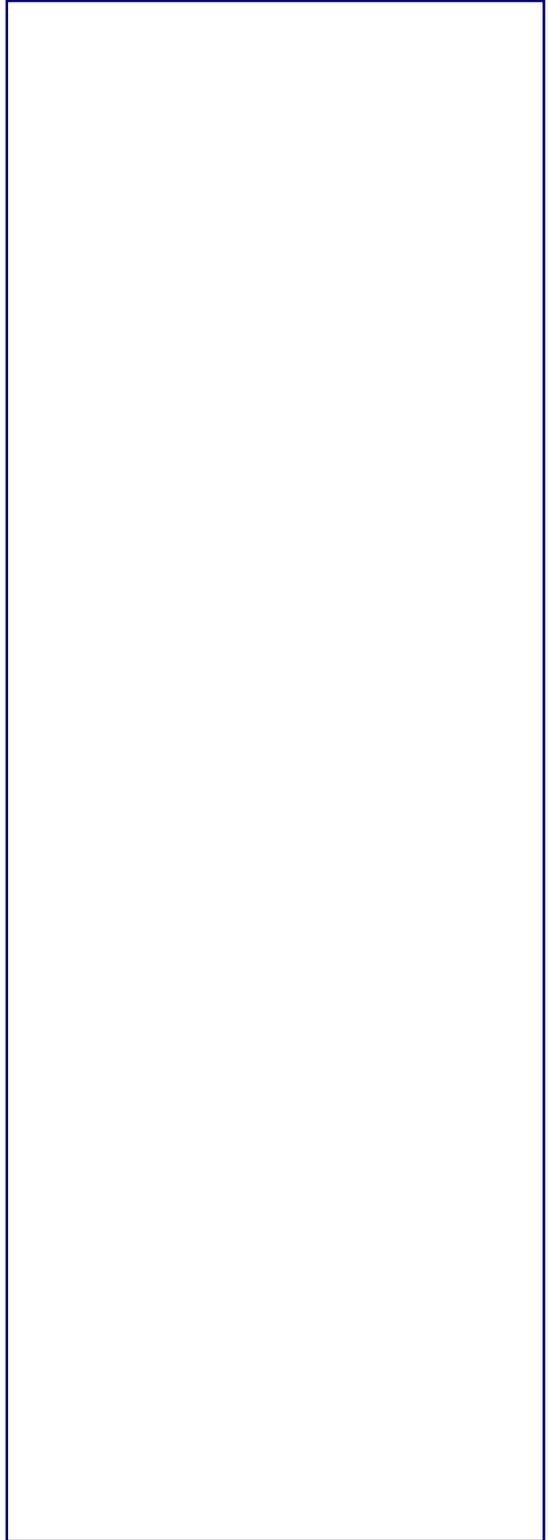


問一

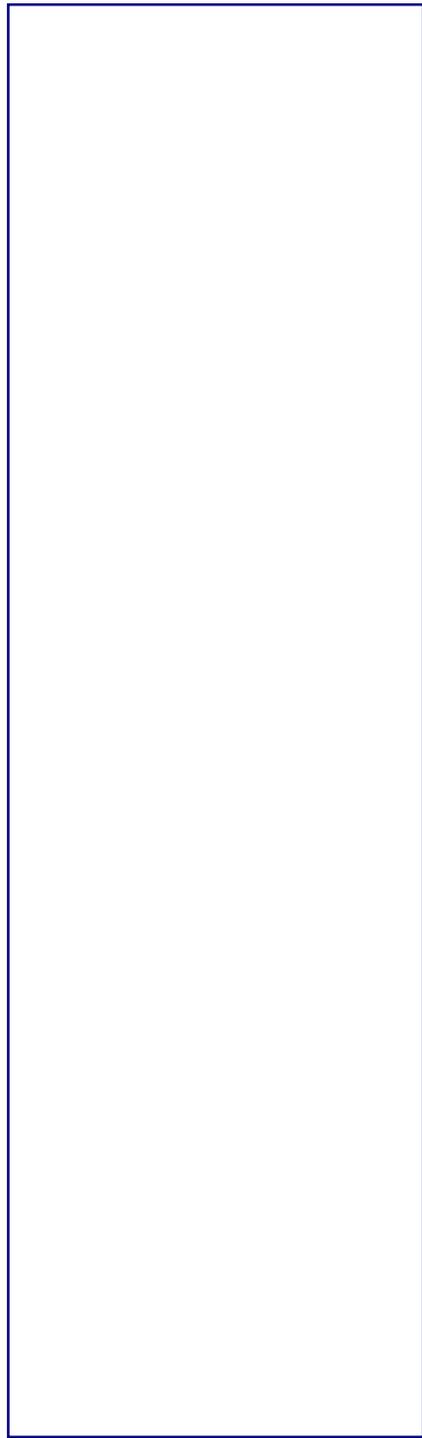
傍線部①

□

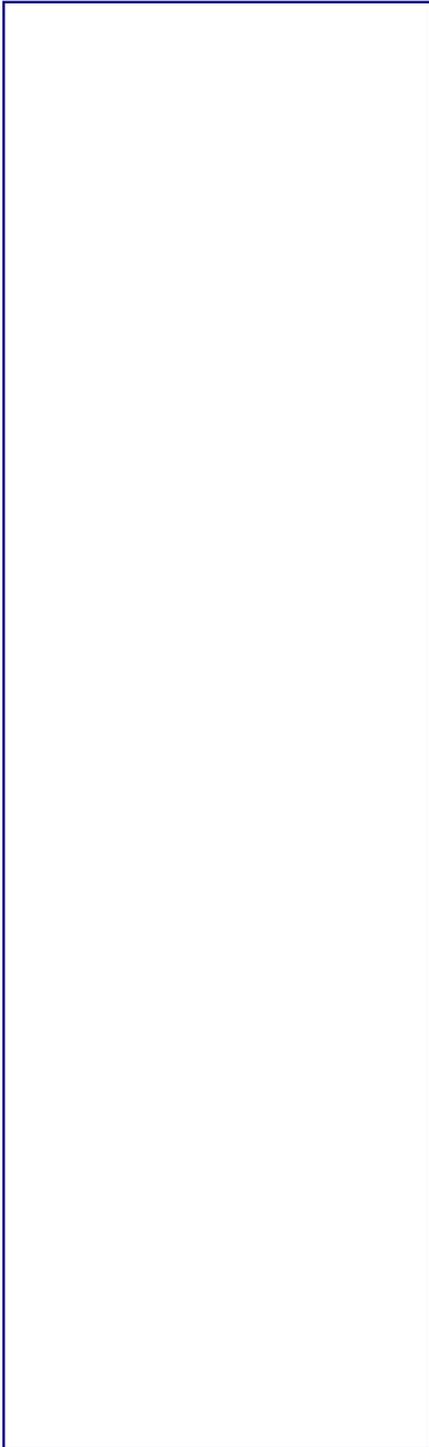
とは、ここではどのような意味か。もっとも適切なものを次の中から一つ選べ。



問二 傍線部2は、どのようなことを意味するか。もっとも適切なものを次の中から一つ選べ。



問三 傍線部3のように筆者が述べるのはなぜか。その理由として、もっとも適切なものを次の中から一つ選べ。



問四 傍線部4  と二葉亭四迷の『浮雲』の執筆の間にはどのような関係があるか。適切でないものを次の中から一つ選べ。

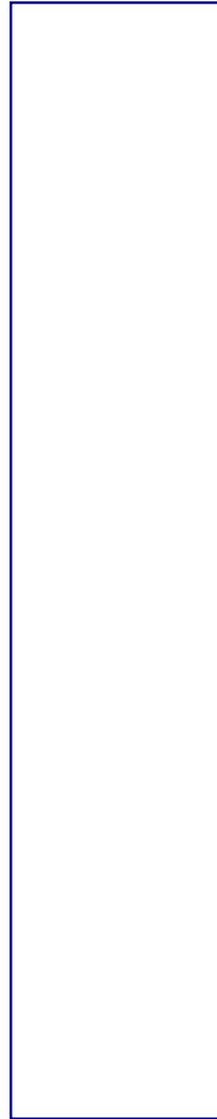
問五 傍線部5は、どのようなことを意味するか。もっとも適切なものを次の中から一つ選べ。

問六 傍線部6について、以下のA・Bに答えよ。

A

も適切なものを次の中から一つ選べ。

のはなぜか。もっと



B

一つ選べ。

を蒲原有明が感じたのはなぜか。もっとも適切なものを次の中から



問七 波線部アゝエの片仮名を漢字に直せ。

問八 二重傍線部Xのように筆者が述べるのはなぜか。七十字以内で説明せよ(句読点を含む)。

問九 二重傍線部Yは、具体的にはどのような文体か。五十字以内で説明せよ(句読点を含む)。

二

次の文章は『源氏物語』の一節で、須磨に自ら退くことを決めた光源氏が紫の上と語る場面である。これを読んで後の間に答えよ。

「なほ世に赦されがたうて年月を経ば、巖の中にも迎へたてまつらむ。ただ今は、人聞きのいとつきなかるべきなり。朝廷にかしこまりきこゆる人は、明らかなる月日の影をだに見ず、安らかに身をふるまふことも、いと罪重かなり。過ちなけれど、さるべきにこそかかることもあらめと思ふに、まして思ふ人具するは、例なきことなるを、ひたおもむきにも狂ほしき世にて、立ちまさることもありなん」など聞こえ知らせたまふ。日たくるまで大殿籠れり。

帥宮、三位中将などおはしたり。対面したまはむとて、御直衣など奉る。「位なき人は」とて、無紋の直衣、なかなかいとなつかしきを着たまひてうちやつれたまへる、いとめでたし。御鬢かきたまふとて、鏡台に寄りたまへるに、面瘦せたまへる影の、我ながらいとあてにきよらなれば、「こよなうこそおとろへにけれ。この影のやうにや瘦せてはべる。あはれなるわざかな」とのたまへば、女君、涙を一目浮けて見おこせたまへる、いと忍びがたし。

A 身はかくてさすらへぬとも君があたり去らぬ鏡の影は離れじと聞こえたまへば、

B 別れても影だにとまるものならば鏡を見てもなぐさめてまし

柱隠れにみ隠れて、涙を紛らはしたまへるさま、なほこら見る中にたぐひなかりけりと、思し知らるる人の御ありさまなり。

〈注〉 ○巖の中…人里離れた山の中の住居。 ○ひたおもむきにももの狂ほしき世…光源氏に敵対する一派がさらに勢力を増

し、思うままに常軌を逸した方向へ突き進む世の中。 ○位なき人は…光源氏はこの時官位を剝奪されている。

問一 傍線部1の意味としてもっとも適切なものを次の中から一つ選べ。

- a 世間に許されないままある程度年月を経た後には、
- b やはり世間から許されないまま年月が経ってしまうので、
- c もしいつまでも世間に許されないまま年月が経つならば、
- d 年月を経れば経るほどいつそ世間から許されなくなるので、

問二 傍線部2はどういうことか。もっとも適切なものを次の中から一つ選べ。

- a 外聞がよくないということ。
- b 噂うわさは信用できないということ。
- c 世間の評判は気にしなくてよいということ。
- d 他人の意見に耳を傾けるべきだということ。

問三 傍線部3の意味としてもっとも適切なものを次の中から一つ選べ。

- a 案ずる
- b うち捨てる
- c 残す
- d 伴う

問四 傍線部4を現代語訳せよ。

問五 傍線部5はどうか。もっとも適切なものを次の中から一つ選べ。

- a 模様のない質素な直衣が、かえって栄華の昔を思い出させるということ。
- b 模様のない地味な直衣が、かえって優美で心ひかれるさまであるということ。
- c 模様のない地味な直衣が、光源氏の魅力を中途半端なものにしてしまうということ。
- d 模様のない質素な直衣が、光源氏に中途半端に未練を抱かせてしまうということ。

問六 傍線部6の意味としてもっとも適切なものを次の中から一つ選べ。

- a 見上げる
- b 目を伏せる
- c こちらを見る
- d 起き上がって見る

問七 和歌Aの傍線部P、Qの「ぬ」と同一の語を傍線部に持つものを、次の中からそれぞれ一つ選べ。

- a 冬はつとめて。雪の降りたるは言ふべきにもあらず、(『枕草子』)
- b 信濃なる浅間の嶽に立つ煙をちこち人の見やはとがめぬ(『伊勢物語』)
- c 嘆きつつひとりぬる夜の明くる間はいかに久しきものとかは知る(『蜻蛉日記』)
- d 竜の首の玉取り得ずは、帰り来な。(『竹取物語』)
- e 河内の国、高安の郡に、いき通ふ所出で来にけり。(『伊勢物語』)
- f さては扇のにはあらず、くらげのななり。(『枕草子』)

問八 和歌Bについて、次の問に答えよ。

- (1) 二重傍線部Xを、何が何に「とまる」のかを明らかにして現代語訳せよ。
- (2) 二重傍線部Y「まし」は反実仮想を表している。実際はどのようなようであるか、説明せよ。

問九 傍線部7は、誰のどのような様子について、誰が抱いた感慨か、説明せよ。

三

次の文章を読んで後の問に答えよ。なお、設問の都合上、返り点・送り仮名を省いた箇所がある。

殺<sup>セバ</sup>一人<sup>ヨ</sup>謂<sup>ヒ</sup>之<sup>ヨ</sup>不義<sup>ト</sup>、必<sup>ズ</sup>有<sup>リ</sup>一死罪<sup>ニ</sup>矣<sup>1</sup>。若<sup>レ</sup>以<sup>テ</sup>此<sup>ノ</sup>説<sup>ヲ</sup>往<sup>リ</sup>、殺<sup>セバ</sup>十人<sup>ヨ</sup>二十重<sup>シテ</sup>不義<sup>ト</sup>、

必<sup>ズ</sup>有<sup>リ</sup>二十死罪<sup>ニ</sup>矣<sup>1</sup>。殺<sup>セバ</sup>百人<sup>ヨ</sup>百重<sup>シテ</sup>不義<sup>ト</sup>、必<sup>ズ</sup>有<sup>リ</sup>百死罪<sup>ニ</sup>矣<sup>1</sup>。当<sup>タリテ</sup>此<sup>ニ</sup>、

天下之君子皆知<sup>リテ</sup>而非<sup>トシ</sup>之<sup>ヨ</sup>、謂<sup>フ</sup>之<sup>ヨ</sup>不義<sup>ト</sup>。今<sup>リテ</sup>至<sup>下</sup>大<sup>ニ</sup>為<sup>シ</sup>不義<sup>ト</sup>攻<sup>ムルニ</sup>国<sup>ヲ</sup>、則<sup>チ</sup>弗<sup>レ</sup>

知<sup>ラ</sup>非<sup>トスルヲ</sup>、従<sup>ヒテ</sup>而<sup>テ</sup>誉<sup>メ</sup>之<sup>ヨ</sup>、謂<sup>フ</sup>之<sup>ヨ</sup>義<sup>ト</sup>。情<sup>マコトニ</sup>不知<sup>リ</sup>其<sup>ノ</sup>不義<sup>ト</sup>也。故<sup>ニ</sup>書<sup>シテ</sup>其<sup>ノ</sup>言<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>遺<sup>ス</sup>後世<sup>ニ</sup>。

若<sup>レ</sup>知<sup>リ</sup>其<sup>ノ</sup>不義<sup>ト</sup>也、夫<sup>レ</sup>奚<sup>ニ</sup>説<sup>ク</sup>書<sup>ク</sup>其<sup>ノ</sup>不義<sup>ト</sup>以<sup>テ</sup>遺<sup>ス</sup>後世<sup>ニ</sup>哉<sup>1</sup>。今<sup>リテ</sup>有<sup>リ</sup>人<sup>ニ</sup>於<sup>ニ</sup>此<sup>ニ</sup>、少<sup>シク</sup>見<sup>レ</sup>

黒<sup>キヲ</sup>曰<sup>ヒ</sup>黒<sup>シト</sup>、多<sup>ク</sup>見<sup>テ</sup>黒<sup>キヲ</sup>曰<sup>ハバ</sup>白<sup>シト</sup>、則<sup>チ</sup>必<sup>ズ</sup>以<sup>テ</sup>此<sup>ノ</sup>人<sup>ヲ</sup>為<sup>サン</sup>不<sup>レ</sup>知<sup>ラ</sup>白<sup>黒</sup>之<sup>ヲ</sup>弁<sup>ス</sup>矣<sup>1</sup>。少<sup>シク</sup>嘗<sup>メテ</sup>苦<sup>キヲ</sup>曰<sup>ヒ</sup>

苦<sup>シト</sup>、多<sup>ク</sup>嘗<sup>メテ</sup>苦<sup>キヲ</sup>曰<sup>ハバ</sup>甘<sup>シト</sup>、則<sup>チ</sup>必<sup>ズ</sup>以<sup>テ</sup>此<sup>ノ</sup>人<sup>ヲ</sup>為<sup>サン</sup>不<sup>レ</sup>知<sup>ラ</sup>甘<sup>苦</sup>之<sup>ヲ</sup>弁<sup>ス</sup>矣<sup>1</sup>。今<sup>リテ</sup>小<sup>シク</sup>為<sup>レ</sup>非<sup>ト</sup>、

則<sup>チ</sup>知<sup>リテ</sup>而<sup>テ</sup>非<sup>トス</sup>之<sup>ヨ</sup>。大<sup>イニ</sup>為<sup>レ</sup>非<sup>ムレバ</sup>攻<sup>ムレバ</sup>国<sup>ヲ</sup>、則<sup>チ</sup>不<sup>レ</sup>知<sup>ラ</sup>非<sup>トスルヲ</sup>、従<sup>ヒテ</sup>而<sup>テ</sup>誉<sup>メ</sup>之<sup>ヨ</sup>、謂<sup>フ</sup>之<sup>ヨ</sup>義<sup>ト</sup>。

5 此可謂知義与不義之弁乎。

〔墨子〕非攻上

問一 傍線部1はどのような意味か。もっとも適切なものを次の中から一つ選べ。

- a 人々はこのように説いているようであるが
- b このような論理が世間で通用するならば
- c このような理屈にしたがって考えてゆくと
- d こうした説は一見正しいように見えるが

問二 傍線部2をすべてひらがなで書き下し文にせよ。

問三 傍線部3の口語訳としてもっとも適切なものを、次の中から一つ選べ。

- a どうして進んで不正義の戦争について後世に書き残そうとするだろうか。
- b 不正義の戦争について述べた書物など後世に残るべきではないのだ。
- c どのように説明すれば不正義の戦争であることを伝えられるだろうか。
- d 不正義の戦争であったことをしっかりと記録しておかねばならない。

問四 傍線部4以下のたとえ話は、どのようなことを述べるために挿入されているか。もっとも適切なものを次の中から一つ選べ。

a 色や味に関する繊細な感性を持たない人間には、正義・不正義の区別といった複雑・微妙な問題は解決できないということ。

b 世の人々の戦争に対する考え方は、真っ黒なものを白い、とても苦いものをうまいというようなもので、判断の基準が異常であるということ。

c 黒を白、苦いものをうまいと言いくるめるような詭弁が通用する社会では、正義と不正義の区別も曖昧になってしまいがちであるということ。

d 他国を攻める行為を正義であるとたたえることは、小さいものを軽んじ、大きなものにおもねるような心性に根ざしているということ。

問五 墨子は諸子百家の一人に数えられる。諸子百家の説明として適切でないものを、次の中から一つ選べ。

a 墨子は万人を差別なく愛する「兼愛」の思想を説いた。

b 韓非子の説いた法家の思想は秦の統治にも利用された。

c 縦横家には、戦国時代、外交政策を説いた蘇秦や張儀らがいる。

d 孔子の学を継ぎ人の道を説いた孟子の思想を道家と呼ぶ。

問六 傍線部5を書き下し文にし、口語訳せよ。

